



避難警戒レベルに注意！

風水害等の発生が予想される場合、災害の状況に応じて以下の警戒レベルに応じた避難情報が発令されます。町からの情報（防災行政無線戸別受信機より発信する「災害時の緊急放送」、自治体のホームページ、テレビなど）に注意しましょう。特に、避難に時間がかかる方（高齢者や障がいのある方、妊婦や乳幼児など）は時間に余裕をもって避難を始めてください。

「警戒レベル4」の避難指示が出た場合は必ず避難しましょう。



マイタイムラインを作つてみよう！

台風や大雨による避難行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動計画表です。急な判断が迫られる災害に対して、自分自身の行動、また判断のサポートツールとして役立ちます。

マイ・タイムライン 記入表 避難する場所：

備えまでの おおよその時間	気象情報など	警戒レベル 気象情報（気象庁） 避難情報（町）	私の備えと行動 ※自分たちの備えと行動を考え書き込みましょう。
3日前	災害への心構えを高める ・大雨や台風等の気象予報を確認する	1 早期注意情報	今後の気象情報について注意! 最新の気象情報等に注意し、非常持ち出し品の確認など、災害への心構えを高める。
2日前	・雨や風がだんだん強くなり、川の水が増え、雨水が地面にしみ込む。	2 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報等	自らの避難行動を確認! 気象情報や避難情報などを入手し、「防災のしおり」等により災害が想定される区域や避難先、避難経路、避難のタイミングなど、自らの避難行動を再確認する。
1日前	避難の判断 ・激しい雨で河川の水が増えて、河川敷にも水が流れている。 ・雨水が地面に溜まる。	3 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報等 高齢者等避難	～緊急速報メールなどが配信される～ 危険な場所から「高齢者等は避難」! ・避難に時間を要する人（高齢者・障がい者・乳幼児など）は避難を開始。 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、避難の準備を整え、防災気象情報に注意し、必要な場合は早めに避難を開始する。
半日前	氾濫の危険 ・河川の水がいっぱいであふれそう。 ・崖から小石がぱらぱら落ちる、斜面から水が噴き出し山鳴りがするなど、土砂災害の前兆現象がみられる。	4 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 避難指示	危険な場所から「全員避難」! 発令 → 速やかに安全な場所へ全員が避難する。 ここまでに避難を完了する!
0時間	氾濫の発生 ・河川の水があふれている。 ・家に近い斜面が崩壊し、土砂が道路をふさぐ。	5 大雨特別警報 氾濫発生情報 緊急安全確保	命の危険!「直ちに安全確保」!! 発令 → 何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。 命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保してください。
家族の集合場所 例:〇〇避難場所、知人〇〇宅		緊急連絡先 例:知人〇〇宅への連絡	

注意報・警報や避難指示等のタイミングはイメージで記載しており、実際とは異なります。